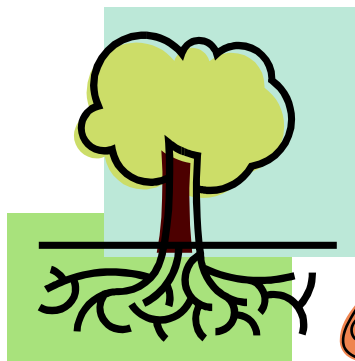




みんなの「百年の森」づくり 冬の講習会 樹の根と土の中を観察しよう！

～結果報告～



大泉緑地管理事務所

平成23年1月23日（日）、比較的暖かい日差しの中、みんなの「百年の森」づくり 冬の講習会を開催しました。参加者は、地元の方やボランティアさんなど合計38名（当日参加14名を含む）が参加されました。

[講習会の状況]

午前の部（11：00～11：30）



〔座 学〕

大泉緑地の歴史、森の目標像などを、そして本日のテーマである樹の根の役目や、生長の条件（植物の根に必要なもの、土の条件など）について説明を受けました。

また、図や写真を用いて、樹の根の状況を事前にみて説明を受けました。

講師は元大阪府立大学大学院教授 前中 久行 先生をお招きしました。

午後の部【大芝生広場 ケヤキ】（12：00～13：30）

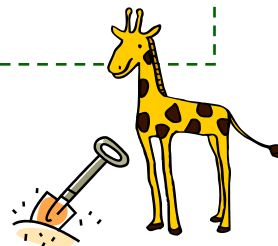


〔ケヤキ対象木〕

対象木となるケヤキ（手前）です。
非常に大きな樹で、大芝生広場にあります。

〔ケヤキの根と土の観察-1〕

事前に穴をほり、埋め戻した土を重機により再度掘削を行いました。子供達の参加者も多く、迫力のある光景に見入っていました。キリンの絵が描いてある重機は子どもたちに大人気でした★





〔ケヤキの根と土の観察-2〕

ケヤキの中の根は表層 20cm ほどの層で伸長しているのみで、本来、高木の生長の根が張る 80cm~120cm ほどの層には太い根が1本伸長しているのみでした。また、この太い根と並行して水道管等が埋設されていたことから、「埋設時の掘削が土を軟らかくし、その場所に根が伸長したのでは？」と前中先生から説明を受けました。



〔ケヤキの根と土の観察-3〕

土壌の硬さを測定する調査を行いました。一般的に、土壌硬度の判断基準として、24 以上の数値を示すと、不良（根茎の発達に阻害あり）と判断されますが、表層より 50cm ほど深さの土壌は数値 32 を示し、根茎が生長できる土壌環境でないことがわかりました！そのため、根茎は土が軟らかい表層部に伸びていることがわかりました。





〔ケヤキの根と土の観察-4〕

樹の根を間近にみてもらうために、実際に穴に入って見学しました。子供たちは大喜びで何回も穴に入る列ができました。



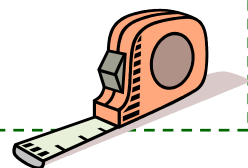
〔ケヤキの根と土の観察-5〕

土壌改良を行う材料（枝、落ち葉、チップ）を参加者みんなで投入しました。子ども達も張り切って手伝ってくれました！



〔ケヤキの根と土の観察-7〕

今後、樹の生長が観察できるよう、樹の高さと樹の太さを計測し、その結果を作成した看板に記録しました。樹の高さは、15.5m、樹の太さは0.59mでした。

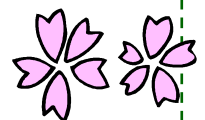


午後の部【桜広場 ソメイヨシノ】（1：30～2：15）



〔サクラ対象木〕

対象木となるサクラ（写真右側）です。あまり生長はよくありません。桜広場に生育しています。



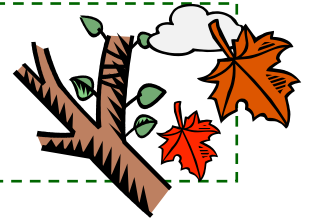
〔サクラの根と土の観察-1〕

サクラの根もケヤキ同様に、地中にあまり張っておらず、土壌の硬さに生育不良の原因があることがわかりました。



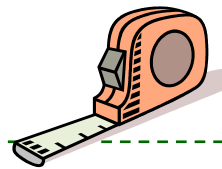
〔サクラの根と土の観察-2〕

こちらもケヤキ同様に枝と落ち葉、チップを入れて土壌改良を行いました。
ケヤキの作業をふまえていたため、スムーズに作業を行うことができました。



〔サクラの根と土の観察-3〕

今後、樹の生長が観察できるよう、樹の高さと樹の太さを計測し、その結果を作成した看板に記録しました。樹の高さは、7.4m、樹の太さは 0.30mでした。



最後に、今回参加頂いた皆さんと記念撮影を行いました。

みなさんおつかれさまでした☆
 土壌改良の結果、これから樹が元気に大きく
 育ってくれることを願います！

来年度も百年の森の講習会やイベントを行っていく予定ですので、これからもお楽しみにしてください☆

